ゆずり葉コミュニティ
逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

ゆずり葉だより

健康で明るく楽しいまちづくり

春　第91号

編集・発行／ゆずり葉コミュニティ　事務局・広報　〈発行部数〉4,700部
〈住　　所〉〒665−0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号　宝塚市立逆瀬台小学校内
〈Eメール〉yuzurihacom@a.zaq.jp　〈連絡先〉中村 TEL 72−5644
〈掲示板〉http:// 8507.teacup.com/yuzuriha/bbs（自由投稿版）
〈ブログ〉http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
〈ホームページ〉http://yzrh.exblog.jp/　〈TEL/FAX〉0797−73−8839

「市民と市長のテーブルトーク」を開催しました!!

高齢者にやさしいまちは、あらゆる世代にやさしいまちである!!

出席者：市民２３名、行政８名

テーマ：
～エイジフレンドリーシティ～「お互いさまがあふれるまち宝塚」

期　日：平成30年2月10日（土）
場　所：西山小学校コミュニティ室
対　象：逆瀬台小＆西山小のまち協

■寒い雨天の中、出席された皆さまが、熱心に意見を交わしました。このトークは、20の宝塚市まちづくり協議会（略称：まち協）が、3年間で順番に開催することになっており、今回が2回目の開催でした。

■**市民から意見・要望が出されました**

参加者からの要望として、①地域の居場所づくりを市が支援する「宝塚市きずなの家」の制度の改善に関する提案、②小学校が高台にあり徒歩での訪問が難しいため、学校脇の水路への蓋の設置等、駐車場の整備に関する提案。③公園のゴミ問題、環境美化の対策の依頼。④小学校への通学路の問題、等が話し合われました。市長、健康福祉部長、市民交流部長、多数の市職員の出席を頂き、有意義な会議となりました。

■**「ゆずり葉コミュニティ」の説明**

市民と市長のトークが始まる前に5分程度の時間を頂き、ゆずり葉コミュニティの組織・事業活動について次の説明を行いました。

■**「ゆずり葉コミュニティ」の変遷**

平成7年の設立当初「運営にあたっては、域内を5ブロックに分け、役員25名、代議員50名の合計75名」の構成としました。役員を横糸、部会やブロック活動を縦糸として、事業活動を開始しました。

平成19年度に規約を改正し、議決機関と執行機関とを明確にしました。

「地域自治の確立」には、合意形成が可能な組織でなければなりません。まず、「各自治会と自治会未結成のマンション管理組合」から選出された代表者をもって「代議員制度」を確立しました。地域の代表者で構成する「役員会」を組織の核とし、行政とのやり取りはその役員会で行うことで、組織の一貫性及び議決と執行のスムーズな協働体制を確保しました。また、「活動者登録届」制度を設け、多くの方に自由に楽しくボランティア活動に参加して頂けるようにしました。部会や実行委員会を主体的に結成し、自由に活動できる環境を作ることにより、地域の人材確保を図ってきました。

■**エイジフレンドリーシティの活動**

ゆずり葉コミュニティは、宝塚市きずなづくり推進事業の「お互いさまがあふれるまちづくり」の補助金を受けて、エイジフレンドリーシティを目指しています。公園の活用、花壇づくり、また、自然豊かな裏山での事業活動をロードマップにして広報活動に励んでいます。また、高齢者による児童の下校同伴、放課後遊ぼう会など見守り活動による活性化は、コミュニティ・スクールの推進にも繋がっています。

■**設立当初のモットー**

当会は『ふれ合い、助け合い、ゆずり合い』のまちづくりを皆で頑張ろう」の合言葉で始まりました。ゆずり葉コミュニティは、これからも、「健康で、明るく、楽しいまちづくり」を目指します。これまでの形式にとらわれず、時代に即したまちづくり活動が重要です。子どもから高齢者まで、全世代が生き生きと暮らすエイジフレンドリーシティを推進してゆきます。

エイジフレンドリーシティ・ウォークラリー（ロードマップ完成記念イベント）

まるごと ウォッチング!!

自然の中にあり、美しい景観を持つ当地域は、地形を活かしたまちづくりが計画的に行われ地域全体は整然とした都市景観を成しています。

この地形の特色を「まち遊び」感覚で知っていただくことは、内面的には「まちを知り防災に活かす」、外面的には「自然散策」で地域のイメージアップを図ることに役立つことが考えられます。

■**イベントルート**：光ガ丘自治会館前―光ガ丘登山口―青葉台登山口―逆瀬台センター―北逆瀬台登山口―西逆瀬台登山口―ゆずり葉緑地公園（終点）

自作の凧づくり＆４０連凧を揚げよう!!

日時：平成30年4月8日（日）9時30分　但し、雨天中止
集合場所：光ガ丘自治会館前
ルートの途中参加可
各自持参：水筒、昼弁当、雨傘
凧づくり：材料は用意します。

子どもたち集合!!
ゆずり葉緑地公園
11：30～13：30

平成30年度定時役員会（総会）を

4月29日（日）午前10時から開催します！
オープンな会議です。奮ってご参加ください！

ゆずり葉コミュニティの定時役員会（総会）を「ゆずり葉コミュニティルーム」で標題のとおり開催します。

議題は、平成29年度の活動報告と会計決算・監査報告ならびに平成30年度の役員選任・委員選出および事業計画と会計予算の審議・承認です。平成29年度の活動報告と会計決算の概要は次のとおりです。

平成29年度活動報告

全体活動

(1) 定時役員会（総会）

平成29年4月30日(日)に開催。29名出席。(役員17名(欠席2名)、非議決権者12名出席。)

平成28年度活動報告・会計決算・監査報告の承認を受けた。平成29年度役員選任・委員選出。事業　計画・会計予算の審議と承認。

(2) 会議開催

①定時役員会：1回／年。
②役員会：5回／年。合計132名参加。
③五役会：8回／年、40名参加。
④広報委員会：15回／年。81名参加。
⑤経理委員会：5回／年、10名参加。
⑥ゆずり葉まつりなど活動支援会議（コミュニティ連絡会議）：3回／年、85名参加。
⑦福祉ネットワーク会議：平成29年10月1日（日）開催。出席19団体で代表者48名参加。
⑧宝塚市まちづくり協議会「代表者交流会」が年6回開催され会長が出席。
⑨市民と市長のテーブルトーク「逆瀬台小と西山小」が開催され、市民23名、行政8名で議論。
⑩宝塚市きずなづくり推進事業補助金を受けて、実行委員会制度を設けロードマップ作成やイベント打合せなど会議を13回実施。

2面に続く

1面から続く

⑪福祉コミュニティ支援事業見直しに向けて、社協と市内20のまち協代表者によって、ワーキングチーム会議の意見交換会が年5回行われ3役が出席。

(3)「ゆずり葉まつり」

平成29年10月21日(土)に開催。家庭・地域・学校が一体となって取り組まれた。「お神輿わっしょい」「ジャグリング」「ゲーム」などで盛り上がり、子供たちの健全育成の醸成となった。

事務局活動

広報委員

①広報紙の発行とブログの更新

「ゆずり葉だより」を年4回、B4版4面、カラー印刷で発行した。ブログを活用し情報公開に努めた。平成29年4月から宝塚市まち協のポータルサイトの運用が開始された。インターネットは、多量な情報の確保とスピーディな配信ができた。

②広報紙の配布

年度当初に1年間の配布日時を設定し、校区を網羅する12自治会長、2マンション理事長又は担当者がコミュニティルームで引き取り、全戸配布した。また、外部配布は、行政関係、小・中・高の各学校、エデンの園、せいれい逆瀬台デイサービスセンター等に配布した。

書記委員

役員会のレジュメ資料は、会議開催日の20日前に作成し、相談役1名、役員19名と関係委員に配布した。議事録は詳細に記録して会長に届け、次回役員会で全員に配布した。

経理委員

支払の請求があれば、出納は書類を確認して迅速・正確に行なった。補助金の申請と報告書は、行政マニュアルに従って、説明責任が果たせるよう作成・提出した。

施設委員

活動拠点「ゆずり葉コミュニティルーム」の利用状況は、延べ354時間／年であった。午前中の利用は、比較的ゆとりがあるので有効活用を図っていく。

活動支援局活動

(1) 地域交流事業

①6マンション自治会と2マンション管理組合で構成する「白瀬川両岸集合住宅協議会」は、毎月第2日曜日に代議員が集まりコミュニケーション会議を行なった。

②シネマシアター上映会は、毎月数ヶ所の屋内会場や野外映画会を行い、映画を通して親睦を図った。

③自治会や老人クラブ、福祉活動委員会などが、桜祭り、夜桜の集い、盆踊り大会、夏祭り、納涼花火会、文化祭、音楽会、展覧会、絵画展、お茶会、もちつき、収穫祭など活発な事業を行い、住民の親睦、連帯意識の醸成と文化の高いまちづくりを進めた。

④地域における支え合い、見守り支援の仕組みづくりを行った。大学教授を講師としての学習会、見守りのワークショップを開催した。

(2) 子どもの健全育成・三世代交流事業

①子ども・親・高齢者の異世代ふれあいを通して連帯意識を培うべく、小学生入学・卒業の歓送迎会、クリスマス会、里山ハイキング&バーベキュー、芋ほり、遊ぼう会など野外で三世代のふれあい事業を実施した。

②子どもたちを対象に大型紙芝居・人形劇や秋の文化祭・児童コーラス、夏休み学習会・基礎英語会話学習、ソロバンの指導などを行い、健全育成を図った。

③子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する心を育み、豊かな人間性を涵養するため、平成17年度から毎月「伝統文化いけばな子ども教室」の活動を進展させている。

④ペットボトルのキャップを集めて「世界の発展途上国の子どもたち」にワクチンを贈る運動「エコキャップ運動」を推進した。

(3) 防災・防犯推進事業

当校区の高齢化率は、44%を超え、市内最高にある。一方で介護認定率は17%台と低く、健康長寿を誇っている。安全で快適なまちづくりに住民の防災意識の高揚と自主的な防災、防犯運動を展開した。また、育成会児童の見守り同伴下校のボランティア活動への参加の呼びかけを実施した。児童の登下校時に合わせての散歩や植木の手入れなど児童を見守る活動を行なった。

(4) 環境美化推進事業

①「まちをきれいに」を合言葉に公園や川の清掃活動を行なって自然を保護し、ミヤマアカネトンボやホタルを育て、その鑑賞用道路を整備した。

②「花と緑の会」の活動は、各単位自治会や管理組合で活発に取組んだ。

(5) ゆずり葉散策路整備事業

①平成10年から始まった整備事業を継続して、裏山の豊かな自然を活かした身近な場所に四季折々の花と緑があり、高齢者・子どもたち家族揃ってできる健康づくりのための散策路があればと願っている。その整備を行ない、裏山の自然を観察しながらの健康ハイキングができるコースを開拓して、そのルート整備を行なった。

②「ゆずり葉散策路西逆瀬台口」の出入口を駐車場持主が封鎖したため、その対策を「地域ごとのまちづくり計画」に取り入れ解決を図って行く。

③行者山東観峰登頂ハイキングを毎週日曜日の午前に実施した。

(6) 健康・福祉ネットワーク事業

①平成29年10月1日(日)、福祉ネットワーク会議を社会福祉協議会との共催により、地域19団体の代表者48名の参加で開催した。地域福祉推進計画の実行を図った。

②住み慣れた地域での健康と安心を目指し、健やかでやすらぎに満ちた暮らしと、生涯にわたる健康づくりを推進した。ハイキング、卓球、太極拳、健康リズム体操、ゲートボール、健康教養講座・健康教室の出前講座などを活発に行なった。

③高齢者の見守りや閉じこもり予防の介護予防事業として、敬老の日のお祝い訪問、高齢者相互の絆づくりを目指す食事会、ふれあいサロンを域内で14箇所設置して、健康カラオケサロン、歌唱クラブ、ウクレレの会、手芸サークル、マージャン同好会などを実施して健康づくり・福祉ネットワーク事業を活性化した。

(7) エイジフレンドリーシティに向けて地域活動活性化への取組

超高齢化が進み、急坂の多いベッドタウンである当地は、高齢者にやさしいまちづくりを目指して地域の公園、花壇、裏山についてロードマップを完成させた。今後はその利活用を図り、あらゆる多世代の「お互いさまがあふれるまちづくり」への実践活動を行う。

平成29年度会計決算報告

(単位：円)

収入の部	予算額	実績額	摘要
前年度繰越金	72,979	72,979	平成28年度からの繰越金
市の補助金(1)	386,000	386,000	補助金交付要綱第5条1～3号
市の補助金(2)	170,000	170,000	補助金交付要綱第5条4号
市の補助金(3)	250,000	250,000	きずなづくり推進事業補助金
社福の助成金	177,000	177,000	福祉C支援事業助成金
ふれあいいきいきサロン	40,000	40,000	「ゆずり葉シニアサロン」社協助成金
社協の公募助成金	70,000	70,000	赤い羽根共同募金公募配分金
協賛金	110,000	107,650	11自治会、3管理組合、エデンの園
広告収入	230,000	218,120	ゆずり葉だよりの広告料
雑収入	0	34,469	保険金戻入34,465 利息4円
合計	1,505,979	1,526,218	

支出の部	予算額	実績額	摘要
活動費	285,000	304,040	組織運営、地域課題事業
広報紙・HP事業費	405,000	415,594	広報紙年4回発行
市の補助金(2)支出	170,000	170,000	祭り・文化・技能祭の絆づくり
市の補助金(3)支出	250,000	250,000	きずなづくり推進事業補助金
社協の助成金	177,000	177,000	福祉C支援事業費
ふれあいいきいきサロン	40,000	40,000	「ゆずり葉シニアサロン」継続事業
社協の公募助成金事業	70,000	70,000	赤い羽根共同募金公募配分金
会議室等使用料	2,000	1,200	コミュニティルーム使用料
プリント・コピー・文具代	25,000	26,411	
予備費	81,979	—	
小計	1,505,979	1,454,245	
次年度繰越金	—	71,973	
合計	1,505,979	1,526,218	

拠点施設運営協力積立金特別会計　平成29年4月1日～平成30年3月31日

拠点施設運営協力積立金	28年度残高	収入	支出	29年度残高
29年度	674,335	35,406	0	709,741

平成30年度の事業計画および会計予算については、平成29年度の実績とほぼ同様のため紙面の都合により掲載を省略しました。

宝塚市まちづくり計画に位置付けられた地域事業補助金

①	逆瀬台文化祭	80,000 円
②	逆瀬台夏祭り	60,000 円
③	逆瀬台桜まつり	30,000 円
	(合計)	170,000 円

宝塚市社会福祉協議会の福祉コミュニティ支援事業助成金

①	光ガ丘クラブ福祉活動費	120,000 円
②	逆瀬川グリーンハイツ夏祭り	20,000 円
③	ゆずり葉シニアサロン	10,000 円
④	ふれあいサロン・アヴェルデ	10,000 円
⑤	サロン遊楽里・西山	10,000 円
⑥	その他	7,000 円
	(合計)	177,000 円